

# 地方CR活動

山形県協会
その他
山形県ヘルプマーク普及活動へ活動助成金を寄付しました
<p>山形県協会（会長：福塚和也 住友生命山形支社長）は、周囲の人から援助や配慮を得やすくする「ヘルプマーク」の普及に役立ててもらうため、山形県に10万円を寄付しました。</p> <p>ヘルプマークは、義足や人口関節、ペースメーカーの使用者、妊娠初期の女性など、特に外見から支援の必要性が分かりにくい人のために、導入が進められており、県でも積極的に普及を推進しています。</p> <p>福塚会長から、「ヘルプマークは意義ある取り組みで、寄付を通じて、管下職員が理解を深めるとともに、普及促進につながれば良いと思っています。より普及していくよう、少しでもお役に立てていただきたい」と目録を手渡し、県の柴田優健康福祉部長からは、「障がい者と健常者の共生社会の推進にしっかり取り組み、優しく住みやすい県を作るため、努力していきます」と謝辞をいただきました。</p> <p>山形県へのヘルプマークの寄付は、今回で5回目となります。</p>

